



チャノキ [茶の木]

常緑 / 低木 / 木本植物 / 外来種



科名 ツバキ科 (APGⅢ)

特記 生長：普通

10～11月に白い花を下向きに付ける。黄色い雄しべが多数目につく。満開に咲く花とは違い、芳香ある花をちらほらと咲かせる。よく結実して2cmほどの丸い果実をつける。奈良時代に中国から薬用として持ち込まれた。原産地は亜熱帯であるため低温や寒風、霜に弱い。



新葉時



花



実



葉と花

Memo

チャノキには2系統がある。シネンシス系は緑茶向き、アッサム系は紅茶向きとして利用される。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花	期												
果	実												
紅	葉												
施	肥												
剪	定												

★：花芽分化の時期（分化後に剪定すると花付が少なくなる）

好みの環境			
日当り	陽	○	○
土壌	乾	○	○
寒さ	強		○
暑さ	強	○	
潮風	強	○	

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○	○					

ポイント

刈り込み剪定ができるので、寄植えに混ぜたり、生垣に利用できる。花の時期が秋なので、ツツジの刈り込みに混ぜておくと春秋に違う花が楽しめる。生垣は他の植物と混ぜ垣にしても利用できる。

剪定

萌芽力があり剪定に耐えるので、生垣、添景、刈り込みなど利用範囲は広い。夏には翌年の花芽が形成されるので、剪定は梅雨前がよい。風通しの確保がポイント。

病虫害

チャドクガが発生するため敬遠されやすいが、発生初期の幼虫は日中、葉の裏側に隊列を組んでいるので、比較的簡単に除去できる。他にはカイガラムシが発生することがある。